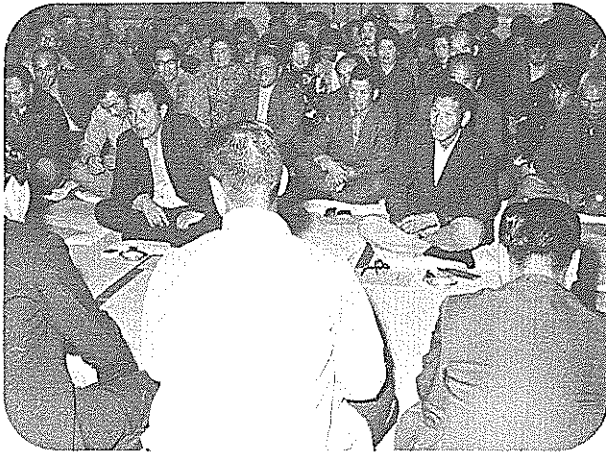


なんこく

あなたと市政をむすぶ★★★★★広報



地域のかかえた問題点や要望を市長ら執行部とともに対話のなかで考えようと対話集会在開かれた。

市民と市長の対話集会から

市内八カ所に約五百人が参加

対話のあらまし

聴く市政、話す市政、そして、それに応える市政。の第一歩ともいえる、市民と市長の対話集会在が市内八カ所に約五百人の市民が集って行われた。

市内一巡とはいかなかったが前浜、長岡東部、白木谷、瓶岩、野田、岩村、国府、三和で、平均五

十人前後、三和地区では約百三十人の市民がつけかけ「市はマイクもよう買わんか、声が聞えん」という一幕もあった。

始めての対話集会所であって、市政の報告も、空港問題、国立高知医大、広域農道、みかん園など農業問題、財政危機問題などに限って二、三十分。あとは「どんな小さいことでもいい、地区住民の悩み、要望を聞きたい」という姿勢で、いろいろの発言があった。なかには「いつやるか。この場で約束せよ」と詰めよられる場面もあって執行部もタジタジ。「聞くだけか」「市民の声を聞かなければ行政がでないのか」という声や「住民の一方的な要求だけでなく行政のいいたいことはないか」対話集会所は大賛成」と反響もいろいろ。市民対話ということで、市全体からみた市政の課題を、住民とともに考えるというところまではまだまだの感じだった。

(短い文で住民の声が十分反映していないところもありますが、声の要旨を特集します。)

このあとの広報計画

市長への手紙の集計などは紙面の都合で、次の号に掲載します。

■ゴミ袋無料化のアンケートは三月一日号・市長への手紙は一月二十五日現在で六八八通。うちアンケートに回答のあったものは六四八通でした。これにより、ゴミ袋の無料はよいことだ。三〇一、四六・五三(無料の必要ない)一九六通(三〇・二三)一部負担七一通(一一三)どちらでもよい四一通(六・三三)その他三九通(六三)。よいの内訳は勤め人七〇、農業五六、無職四九、必要ないの内訳は農業六〇、勤め人三五、無職二三でした。

■市長への手紙の内容などは三月十五日号・意見などは延べ九〇五件。多かったものは道路新設改良七八、道路舗装六四、文化・公民館五三、広報広聴五二、空港問題五一、河川、橋梁、排水路五一の順。地区別では大篠一六〇、長岡二二〇、日章一二二、三和八四、岡豊五三の順でした。

■施政方針・四月一日号。

■予算の内容と解説・四月十五日号の予定です。

お知らせ版

☆市民と市長の対話集会所特集

2 / 15 1975 No.189
編集・発行/南国市広報委員会